

5 / 26 こども園ひがしどおり5歳児

あわび種苗センター・さくらます孵化場見学

あわび種苗センター及び老部川さくらます孵化場において、「東通学」の一環で、こども園ひがしどおり5歳児による施設見学、サクラマス稚魚放流体験が行われました。

あわび種苗センターでは、伊柳所長からあわびの生態に関して説明を受けた後、村内地先で捕れる海の幸に触れて学び、老部川内水面漁協では相内参事からサクラマスの生態に関しての説明を受けた後、人工河川において稚魚放流が行われました。

両施設での幼児達は、「あわびは何を食べているの?」、「サクラマスの稚魚はいつ生まれたの?」と説明してくれた職員にたくさん質問を投げかけていました。



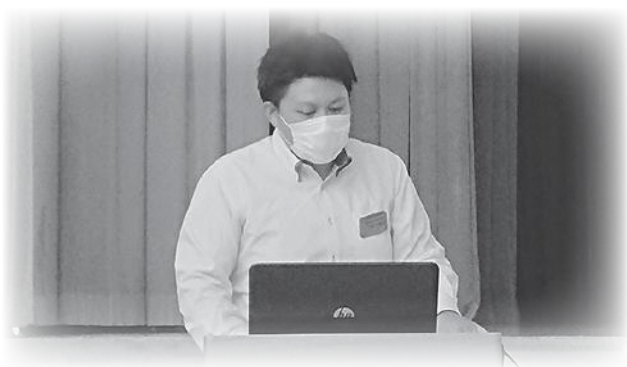
あわび種苗センターでの様子



稚魚放流の様子

5 / 26 東通村漁業連合研究会

『スルメイカ漁況の見通しに係る研修会』を開催



講師 三浦太智 氏



研修会の様子

村体育館において、村漁業連合研究会（相馬忍会長）主催による「令和3年度スルメイカ漁況の見通しに係る研修会」が行われました。

約30名が参加した今回の研修会では、講師の地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所 漁場環境部 主任研究員 三浦太智氏から近年の漁獲・資源動向や水温分布に基づく漁況の見通しについて講演がなされました。

参加者は近年のスルメイカ漁の不漁もあって、今年のカサゴの見通しについて真剣に耳を傾けていました。依然として不漁が予想されるスルメイカ漁ですが、好漁場が村の沿岸に形成され、見通しを上回る漁になることを願っています。